

# よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース  
tel.045-662-3716 fax.045-662-7645  
URL <http://yokohama-youth.jp/>  
Eメール [soumu@yokohama-youth.jp](mailto:soumu@yokohama-youth.jp)

## PICK UP 学校内に青少年の居場所を ～「高校内カフェ」をご存知ですか～

### ■横浜総合高校「ようこそカフェ」、スタートから2年

市立の横浜総合高校で実施している高校内居場所カフェ「ようこそカフェ」は、2018年10月に事業スタートから2年を迎えます。

毎回200人近い生徒が参加するカフェでは、個人や団体からの様々な寄付や協力を得て、お菓子や飲み物、手づくりの軽食を無料で提供し、誰でも気軽に立ち寄れる交流・相談の場として、高校生の身近な「居場所」となっています。

カフェの運営には、若者支援の分野で活動するNPO法人多文化共生教育ネットワークかながわ、NPO法人横浜メンタルサービスネットワークとよこはまユースが協働し、横浜市立大学の高橋研究室の協力を得て取り組んでいます。

今年度は、「子供の未来応援基金」「かながわボランティア活動推進基金21」の支援を受けて、年間で30回のカフェを開催するほか、漁業や農業などの就業体験プログラムを夏休み期間に実施しました。



ようこそカフェで過ごす高校生。  
親しみのある校内の中にありますが、教室から離れて少しほっと一息つけます。

### ■高校生が多様なひと・社会と接する「体験」の場

定時制・3部制・総合学科という特色をもつ同校では、ひとりひとりの意欲や個性にあわせて学習を進めていくことができる一方、不安定な家庭環境や厳しい経済状況の中で育ち、卒業後の将来を思い描けずに中退・進路未定で卒業する生徒も少なくありません。



食育プログラムは毎回大人気!

カフェでは、雑談や何気ないおしゃべりの中から生徒の悩みや課題をキャッチし、必要な支援につなぐ「交流相談」を土台に、食育やプログラミングなどの体験の機会を提供することで、高校生が多様なひとや社会とつながる場となるよう、地域の活動団体や企業の協力を得て、活動の幅を広げてきました。

### ■継続には課題も

6月に開催された「神奈川高校内居場所カフェサミット」では、県内の高校で実施している9つの居場所カフェの運営団体が集まり、活動報告やカフェ運営のノウハウを共有するなど、居場所カフェへの社会的関心は高まっています。しかし、県内の居場所カフェはいずれも制度として予算化されたものではなく、継続的な実施にはいまだ課題があります。

ようこそカフェでは、今年度クラウドファンディングを通して寄付や協力を募る予定です。継続に向けた仕組みづくりのために、ぜひご協力をお願いします。

●ようこそカフェに関する問合せ  
事業企画課：045-662-4170

CHECK

青少年育成寄附金募集事業

## 第58回 爆笑!濱っ子寄席

今年も大いに笑って、お楽しみください。

収益金や募金は、青少年の育成事業に活用させていただきます。

- 日 時：2018年11月15日(木) 18時～21時(開場17時30分)
- 会 場：関内ホール大ホール ※全席指定
- 出 演：柳家小三治、柳家権太楼、三遊亭歌之介、  
桃月庵白酒 ほか
- チケット：S席3,500円/A席2,500円/B席1,000円

10月1日(月)10時 電話予約開始! ※チケット引換:10月15日(月)から

【お問合せ・ご予約】総務課 045-662-3716



「笑って楽しみながら、青少年育成」がテーマ

青少年交流・活動支援スペース さくらリビング

めざせ！ワールドカップ！

～おはじきサッカーが盛り上がっています～

2018FIFA ワールドカップは、日本代表の活躍で大変盛り上がりましたね。さくらリビングでは、毎週土曜日、おはじきサッカーの練習が盛り上がっています。

おはじきサッカーとは、プレイヤーである“おはじき”を指で弾きボールに当てて行うサッカーです。体力や年齢に関係なく誰もが選手になれるのも魅力のひとつ。毎回、小学生から大学生、親子など多世代で楽しんでいます。また、2年に一度ヨーロッパでワールドカップも開催されています。練習会には自由に参加できるので、さくらリビングにお越しの際は、ぜひ、おはじきサッカーを体験してみてください。



放課後キッズクラブ

夏を満喫！～水遊びプログラム～

(7月30日/日吉南小学校放課後キッズクラブ)

夏休みの1日、大きなビニールプールをはり、水でつぼうや水風船を使って水遊びをしました。

ビニールプールに浮くたくさんの水風船を持ち、ボランティアの学生も加わり、100人近い児童が、投げて・当てて大はしゃぎ！子どもたちは「水でつぼうを撃ちすぎて親指にマメができたよ」「またやりたーい！」「すごかったのしかった！」と、大満足の様子でした。

猛暑日が続く、外で遊べない日が多くなりましたが、外で行う水遊びは、みんな笑顔で楽しい時間を過ごすことができました！



横浜市野島青少年研修センター

子どもも大人も夢中になった！

「海のいきもの観察会」(5月12日/講師：山田陽治先生)

野島海岸に住む生き物たちを観察し、生態を学びました。「見つけるぞ、捕まえるぞ」と気持ははやりますが、成果はイマひとつ…。自然はそんなに甘くありませんね。

楽しく学んだのは子どもだけではありません。沖から採ってきた生き物の説明には、保護者も目を輝かせて聞き入っていました。ある保護者は「今まで子どもから海の生き物について聞かれても答えられませんでした、今



日から答えられます！」という頼もしい感想が。金沢区外からの参加者が多く、野島の豊かな自然を知っていただく機会になりました。

横浜市青少年育成センター

関内ホール地下にて運営再開！

一時移転終了のお知らせ

関内ホールの長寿命化工事により、松栄関内ビル7Fに一時移転していましたが、9月末の工事完了に伴い、10月1日(月)から関内ホールで運営を再開することになりました。

※なお、9月22日(土)～30日(日)は、運営再開の準備期間のため代替施設の利用ができなくなります。ご不便をおかけいたしますが、スタッフ一同、新たな気持ちで運営に取組みます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



Thank you for your support.

ありがとうございました！

2018年2月1日から6月30日までの寄附金

◆ユース賛助会費	130件	461,000円
◆一般寄附金	204件	204,088円

寄附金協力者(名前順、敬称略)

【団体名】

泉区青少年指導員協議会/横浜市立井土ヶ谷小学校PTA/(有)温 伶 堂/神奈川県野球連盟/金港交通(株)/京浜サービス(株) コーロ・アンダンテ/JX-ENEOS 野球部 OB 会事務局/柴町内会/(株) 杉浦商事/第一カーボン株式会社/中央集撰会/日本作法会 横浜市立綱島東小学校PTA/鶴見区子ども育成会連絡協議会/日之出(株)/ブックオフオンライン/ボーイスカウト横浜市連合会 社会福祉法人 横浜共生会/横浜子ども会連絡協議会/横浜市退職小学校長会/横浜商工会議所/(株)横浜スタジアム/横浜野球連盟

【個人名】

青柳 八重子/青山 幸一/芦立 正子/荒井 清/新井 春海/荒巻 喜代子/飯塚 道子/池田 ふみ子/石塚 昇/板垣 憲明/市原 政喜 稲垣 公明/岩倉 憲男/岩崎 紀夫/岩澤 幹夫/岩田 聡/内野 貴彦/榎本 文夫/大石 俊雄/大久保 則子/大槻 恵津子/大槻 繁美 沖津 淑子/恩田 幸一/片岡 喜久江/勝亦 昭次/加藤 仁美/賀谷 まゆみ/川口 俊行/簡 伸治/橘川 和夫/桐原 重孝/工藤 春治 雲井 耀一/源生 忠純/小西 裕治/斎藤 伸夫/酒井 勝己/佐藤 邦彦/佐藤 博/佐藤 雅亮/篠崎 浩子/清水 桂子/鈴木 千代江 武 久美子/岳野万里夫/田島 一郎/橋 晃/田上 恭孝/俵 節子/中村 輝次/中山 里美/野並 直文/野村 啓子/橋本康正/橋本義昭 長谷川 雅子/濱倉 公子/早川 雅子/日比野 政芳/松田 利恵/松本 清江/松本 小寿恵/真鍋 明文/三池 明/三橋 赫夫/三橋ツネ 宮澤 圭子/安田 修二/横田 カツ子/吉田 洋市/和知 典夫



編集後記

冬季五輪で話題となった言葉「そだねー」。「そう」を「そ」と短く、「ねー」を平らに伸ばす発音は北海道方言の特徴という。「かわいい」という言葉とともに、「そだねー」に含まれる、聞き手への「共感」が、寛容さの欠けがちなこの世の中における一服の清涼剤となった。(暁)